



4/7 五夜

「共謀罪」恐ろしい法

札幌弁護士会が市民集会

安倍自公政権が今国会にも成立を狙う「共謀罪」

「共謀罪」をなんとかして阻止しようとする5日夜、札幌市民集会が開かれました。

札幌弁護士会が主催し、日本弁護士連合会と北海道弁護士連合会が共催。参加者が続々と詰めかけ、350人が会場を埋めました。札幌弁護士会の大川哲也会長があいさつ。「『共謀罪』はなにも事件が起きていないのに捜査を始めて摘発しようとするもの。『共謀罪』がいかにも恐ろしい法律なのか、いった

いどんな社会になるのだろうか考えてください」と訴えました。

北海道大学の田信太郎教授、外岡英俊氏（元朝日新聞記者）、原田宏二氏（元北海道警察幹部）がパネル討論しました。

戦前の治安維持法も最初は国会で成立しなかったと紹介した外岡氏。「法案が出されるたびに対象が広がっていった。労働組合や読書サークル、つづり方運動で子どもに作文を書かせた先生が検挙さ

れた」と告発。「過去にこんなことがあったのだから、『共謀罪』が成立すれば必ず同じような事件が起こる」と強調しました。

北海道大学院生の女性（22）は「『共謀罪』は成立してほしくない。自分も捕まるかもしれないと思うと怖いです」といいます。

「興味はあったので、知りたくて参加しました」と語るのは、大学の法学部で学んだという主婦（28）。「『共謀罪』の危険な中身を考えるきっかけになりました」と話していました。

“どんな社会か 考えて”